

02 スポーツフェスティバル2024

■ 楽しいと健康は一緒にできる

10月13日（日）に、従来の村民体育祭に代わる参加型のスポーツイベント「スポーツフェスティバル」がふれあい広場・東秩父中学校を会場に盛大に行われました。当日は老若男女問わず約600名ほどの多くの人が訪れ、様々なスポーツ競技や健康診断・体力測定を体験することで、体を動かす大事さ、そして楽しさを改めて発見できる機会となりました。このスポーツフェスティバルは、村民の健康増進のきっかけと、コミュニケーションの場を作るため、今年度から実施。

大手企業の体験ブースやステージイベント、キッチンカーなども設置され、見て食べて楽しみ、参加して健康意識を高めることができました。



03 各地区の獅子舞・神代里神楽

■ 朝日根の獅子舞

朝日根の獅子舞はコロナで休止していたので6年ぶりの奉納です。地元の人のみならず村外からも多くの方が見に訪れ、村外から来た皆谷地区出身の方は「獅子舞を見るために久しぶりに地元に戻ってきました」と話されており、伝統文化と人々の繋がりを感じました。

■ 浅間神社の獅子舞

浅間神社の獅子舞は、室町時代に大内沢地区に疫病が流行したので、疫病退散・病気平癒を祈念したのが始まりと言われています。大人と子どもが交互に舞いを披露し、子どもたちのあどけなさや可愛らしさ、大人たちのベテラン風情を味わい、世代の受け継ぎを感じました。



■ 萩平の獅子舞

萩平の獅子舞は1746年に常光寺の住職が疫病退散を願って始めたと言われています。山々に太鼓の音を響かせ神社に向かって駆け上がり、境内で迫力ある獅子舞が披露されました。萩平の獅子舞は村外の人でも舞うことができ、伝統文化存続の思いを感じました。



■ 八幡大神社の神代里神楽

神代里神楽は1854年から1860年に伝わった神に祈りを捧げる芸能です。前儀による清めを含め18座からなる神楽は、それぞれに物語があり、見る人を楽しませてくれます。終盤には子どもたちによる恒例の「おもちちょうだい！」が響き渡り、賑やかな奉納になりました。

